



だいの風

日高市立武蔵台小中学校

令和8年3月13日 第20号

今年度のキーワード「対話・創造・挑戦・交流・表現」

学校教育目標

- 自立 かんがえる子・じょうぶな子
- 創造 かんどうする子
- 共生 なかよくする子



「式辞 卒業する9年生へ」



校長 秋馬 信之

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。在校生並びに教職員一同、皆さんの門出を心よりお祝いいたします。4月からは新しいステージが始まる卒業生の皆さんに、心に留めておいてほしい言葉を二つ送ります。

一つ目は「先生方への感謝の気持ちを、これからもずっとずっと持ち続けてほしい」ということです。今日皆さんは武蔵台小中学校を巣立っていきます。武蔵台小学校に入学してからこんにちまで、多くの先生方が皆さんに関わり、深い愛情を注いでくれました。1年生からお世話になった先生の顔を思い出してください……。ぴかぴかのランドセルを背負って入学した1年生の担任の先生は、藤倉 美帆先生 飛澤 麻緒先生、2年生は畑仲 まり子先生 岩附 汐美先生、3, 4年生は矢島 和実先生、5年生は 須佐見 敬子先生、6年生は星野 嘉之先生、7年生は学年主任が高橋 裕幸先生、担任が木屋川内 里奈先生、8年生は学年主任が鴨下 義幸先生、担任が箭内 結衣先生、副担任が小牧 めぐみ先生、9年生は学年主任が日野 美江先生、担任は2年連続の箭内 結衣先生、副担任が川井田 直人先生、やまなみ学級担任は、東 まどか先生、大濱 暢祐先生、そして、いつも皆のそばで成長を見守ってくださった松本 栄先生と加藤 正明先生です。その他、みなさんは教科指導や委員会活動、クラブ活動、そして部活動において、本当に多くの先生方に支えられ、心も体も立派に成長しました。そして、友だちとのかかわりかた、社会の仕組みやルールなど、社会で生き抜くための必要な力の多くを、学校という場で、先生方から学んだのです。「感謝の心は人を育て、感謝の言葉は幸せを引き寄せる」と言われます。一緒になって遊び、一緒になって笑い、一緒になって考え、一緒になって悩んだり、励ましてくれた先生方への感謝の気持ちを持ち続けて、これからの人生を歩んでいってください。そして、いつか先生方と再会したとき、昔話に花を咲かせ、「先生いつぞやお世話になりました」と、感謝の気持ちを伝えられる人になってください。

次に「3つのキーワード『命』『誠実』『故郷』」についてです。自分の人生は自分で切り拓くものです。夢をいだき、そのための目標を立て、それを実現するために挑戦していく。人生が夢をつくるものではありません。夢や目標が、自分の人生をつくりあげていくのです。未来を創り出すのは、あなた自身です。皆さんが生きていく時代は、予測困難なグローバルな時代そのものです。そんな時代を生き、未来を創り出していく皆さんに、大切にしてほしい3つのキーワードについて話しをします。

「命」。「命」は言うまでもなく、たったひとつしかない。皆さんのご両親からいただいたかけがえのないものです。決して粗末にしたり、軽んじたりしてはいけません。自分の「命」も、相手の「命」も大切にできる人になってください。次に「誠実」。「誠実」な人は周囲から信頼され、人望を得られやすくなります。では、誠実さとは何か……。誠実とは、約束を守り、嘘をついたりごまかしたりしないで、真心をもって物事に向き合うことです。誠実さを表す言葉として、「ごめんなさい」「ありがとう」という言葉があります。この2つの言葉を大切にしてください。そして最後は「故郷（ふるさと）」です。皆さんの

